

25. 地域医療福祉の推進

(1) 地域連携クリティカルパス推進事業

医療機関から在宅へ安心して戻る切れ目のない医療を提供し、医療機関の機能分担と連携を図るツールとして、湖東医療圏の実態に即した適切な地域連携クリティカルパスのあり方を検討し具現化することを目的に実施した。地域連携クリティカルパスとは、急性期から回復期、維持期に至る医療連携クリティカルパスに保健・福祉サービスを含め、関係者と利用者が共同して作成するケア計画とする。

- ・経過 当圏域では、「脳卒中地域連携クリティカルパス」の開発検討を、平成19年度から行い、平成22年6月から平成23年8月に試行運用を経て、平成23年10月から「脳卒中湖東地域連携クリティカルパス」運用を開始し、平成24年度は定着に努めた。平成25年5月には、県下統一パス様式「滋賀県脳卒中地域連携パス」が作成されたことを受け、様式変更について検討を重ね、平成25年11月より県下統一パスに様式を改め運用を開始した。

① 湖東地域脳卒中地域連携検討会

- ・目的 脳卒中患者が住み慣れた地域で安心して医療や介護・福祉が受けられるよう、治療やリハビリテーション、看護・介護などに関わる機関が効果的・効率的な連携を行い、安心して転院や在宅復帰につながるよう関係者のネットワークの構築を図るとともに、切れ目ない支援体制の充実に向けて検討する。
- ・開催日 ①ワーキング部会(第1回) 令和6年7月26日(金) 16:00～17:00
②ワーキング部会(第2回) 令和6年12月6日(金) 16:00～17:00
③ワーキング部会(第3回) 令和7年3月14日(金) 16:00～17:00
④検討会 令和7年1月23日(金) 15:00～16:00
- ・場所 彦根市立病院 医療情報センター 多目的室
- ・検討メンバー 医療機関(脳外科医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、社会福祉士)、老人保健施設、訪問看護ステーション、彦根愛知犬上介護保険事業者協議会、彦根愛知犬上介護支援専門員連絡協議会、地域包括支援センター、湖東地域リハビリ推進センター、県立リハビリテーションセンター、湖東健康福祉事務所
- ・検討内容
 - ・地域連携クリティカルパス運用状況と連携上の課題について
 - ・急性期－回復期－維持期(在宅)の連携について
 - ・脳卒中地域連携クリティカルパスを使った患者評価、支援者評価について
 - ・効果的な住民啓発と再発予防支援 等

(2)入退院支援ルール評価・検討事業

- ・目的及び経過
在宅医療や介護が必要な住民が、退院後も機能を維持向上し、安心して過ごせるよう、在宅療養環境を早期に整備する体制が必要である。そこで、病院(看護部)と介護支援専門員が入退院支援にかかる協議検討を行い、病院での治療から在宅療養へのスムーズな連携を図ることを目指し、入退院支援ルールを策定することを通して、病院とケアマネジャーの連携を強化することを目的とする。
当圏域では、平成27年度より病院(看護部)と在宅(ケアマネジャー)が入退院支援の現状の意見交換を行う中で、「病院とケアマネジャーの入退院支援のための手引き」を策定し、平成28年度より運用を開始している。

①湖東地域入退院支援ルール評価・検討事業合同会議(コア会議)

- ・目的
住民が病気になっても住み慣れた家庭や地域で生活を送ることができることをめざし、湖東圏域の医療介護従事者が、実態把握や事例検討、意見交換を通じて、切れ目のない円滑な入退院支援や地域連携体制の問題点および課題を整理し、対策を検討する。
- ・開催日
①令和6年7月31日(水)13:30～15:30
②令和6年12月17日(金)9:30～11:30
③令和7年2月25日(火)9:30～11:30
- ・場所
①湖東合同庁舎1階1B会議室
②湖東合同庁舎1階1C会議室
③くすのきセンター会議室1
- ・検討メンバー
管内4病院(医療連携室等看護師、社会福祉士)、彦根愛知犬上介護保険事業者協議会、彦根愛知犬上介護支援専門員連絡協議会、居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護事業所、地域包括支援センター、滋賀県病院協会、湖東健康福祉事務所
- ・検討内容
・入退院支援ルールの評価検討事業について
・合同交流会の開催と結果について
・令和6年度病院アンケート結果について
・「湖東圏域における病院とケアマネジャーの入退院支援のための手引き」の改正について

②湖東地域入退院支援ルール評価・検討事業合同交流会

- ・目的
病院での治療から在宅療養へのスムーズな連携をはかることにより、機能の維持向上と患者や家族が安心できる療養環境を早期に整備できる体制を構築する必要がある。そのため、「湖東圏域における病院とケアマネジャーの入退院支援のための手引き」を活用し、入退院支援における各機関の役割を確認するとともに、病院と地域の支援者が連携事例を共有し意見交換することで、互いの立場を理解し、互いを思いやることで連携をすすめることを目的とする。
- ・開催日
①令和6年9月11日(水) 9:30～11:30
②令和7年1月29日(水) 13:30～15:30
- ・場 所
①みずほ文化センター 多目的ホール
②彦根市立病院 講堂
- ・対象者
病院:退院に関わる職員(看護師、医療相談員、その他)
地域:居宅介護支援事業所および(看護)小規模多機能事業所、地域包括支援センターに所属するすべての介護支援専門員、行政関係者、その他入退院支援に関わる関係

③湖東圏域入退院支援ルール評価検討事業にかかるアンケート調査

- ・調査目的 湖東圏域の入退院支援ルールの評価とのため実施
- ・調査時期 令和6年9月
- ・調査対象 病院の病棟看護師長、退院調整部門の長
- ・調査内容 (1)「湖東圏域における病院とケアマネージャーの入退院支援のための手引き」の活用状況
(2)入院時情報提供書の活用状況
(3)退院前支援に関すること
(4)退院後情報提供書提出状況 等

(3)地域リハビリテーション提供体制整備推進事業

- ・目的 リハビリ専門職と地域の課題に取り組むために、リハビリ専門職の活動状況を把握するとともに、地域との連携における課題を明らかにし、どのような協力体制があれば地域リハビリテーションの推進につながるのか検討する
- ・開催日 湖東地域リハビリテーション推進センター事務局会議への参加
令和6年5月13日、9月27日、11月26日、令和7年1月2日、1月27日、3月14日
- ・場 所 くすのきセンター（彦根市保健・医療複合施設）
- ・検討内容 地域リハビリテーションの推進に関すること
- ・参加者 湖東リハビリテーション推進センター担当、県立リハビリテーションセンター担当、湖東健康福祉事務所

(4)湖東圏域地域包括ケア等担当者会議

- ・目 的 管内の市町が、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるための地域包括ケアシステムの構築を推進していけるよう、市町の取り組みの情報交換や課題の共有、広域的に取り組むべきことの検討等を行う。
- ・開催日 原則、月1回 第3金曜日 9:30～11:00
令和6年5月17日、6月21日、9月17日、10月18日、11月22日、12月20日、令和6年3月21日
- ・場 所 くすのきセンター（彦根市保健・医療複合施設）
- ・検討内容 医療と福祉の連携推進に関すること
介護予防に関すること
地域リハビリテーションの推進に関すること
その他、地域包括ケアシステムの構築に関すること
- ・参加者 市町および湖東健康福祉事務所担当、議題により、湖東リハビリテーション推進センター担当、在宅医療福祉職応援事業委託事業者担当、彦根市地域包括支援センター担当 等

(5) ことう地域チームケア研究会

- ・目的 湖東地域の住民が、どんな状態でも自分らしく、いきいきと暮らせるしくみづくりのために、関係者がお互いの不安や不便を分かち合ったり、関係職種への理解を深め、チームづくりを進めること等を目的に、顔の見える場から手をつなぎ合える関係を目指して開催している。当所は、世話人として協力している。
- ・場 所 Zoomを使用したWEB配信とくすのきセンター3階会議室1
- ・検討内容 話題提供、参加者による意見交換および結果発表
- ・話題提供のテーマと担当団体 * 研究会終了後、世話人会開催

開催日 (18:30~20:30)	テーマ等	担当団体	参加者
令和6年 5月16日(木)	災害時における医療・福祉支援	世話人会	66
7月11日(木)	事例を通して考えるACP①	彦根薬剤師会 湖東圏域4病院相談支援部門	55
9月12日(木)	事例を通して考えるACP②	彦根医師会 介護保険事業者協議会	65
11月14日(木)	事例を通して考えるACP③	訪問看護ステーション連絡協議会 介護支援専門員連絡協議会	85
令和7年 1月16日(木)	認知症の方への支援	湖東健康福祉事務所 市町地域包括支援センター	66
3月13日(木)	口腔機能の評価と食に関する切れ目のない支援	彦根歯科医師会 滋賀県歯科衛生士会 湖東食と栄養を考える会 滋賀県POS連絡協議会湖東支部	90

- ・事務局 彦根愛知犬上介護保険事業者協議会(在宅医療福祉職応援事業)
彦根市医療福祉推進課

(6) 圏域在宅医療福祉推進事業

湖東地域人生の最終段階における医療・ケアの普及啓発プロジェクト会議

- ・目的 湖東地域において、地域住民が可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう自分の医療やケアの受け方について考え、周囲とともに話しそれを表示できるための、まずは医療介護関係者がACP(アドバンスケアプランニング)を理解し実践できるようにプロジェクト会議を立ち上げ人材育成に関する取り組みについて検討する。
- ・検討メンバー 管内4病院、訪問看護ステーション、彦根愛知犬上介護支援専門員連絡協議会、地域包括支援センター、彦根愛知犬上介護保険事業者協議会、湖東健康福祉事務所
- ・開催日 令和6年度は未開催